

域内周遊促進による観光消費額増加を目指す
国指定史跡を核とした地域一帯の歴史文化資産有効活用推進プロジェクト

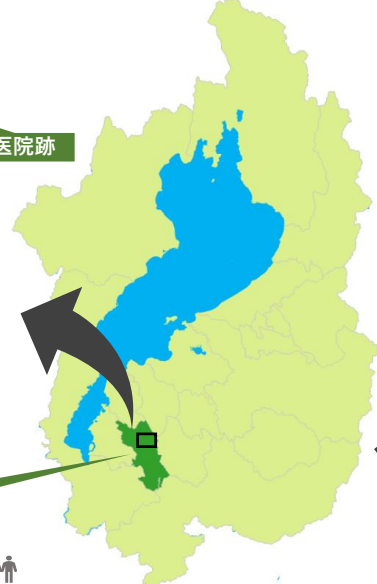
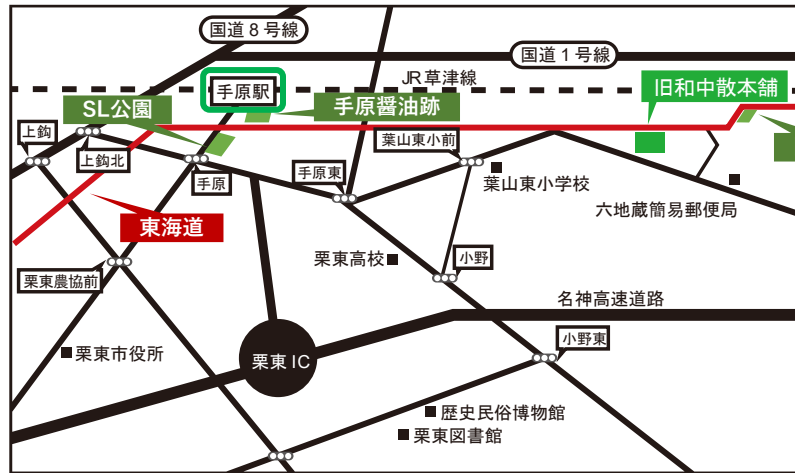


国指定史跡「旧和中散本舗」外観

滋賀県栗東市六地蔵および手原周辺 一般社団法人栗東市観光協会

滋賀県栗東市六地蔵および手原周辺

栗東は古代から中山道と東海道の通る交通の要衝でした。江戸時代には東海道と中山道が通る交通の大動脈であったことから、人や物、文化が行きかい、まじわり、にぎわいました。なめし 東海道の目川立場、梅ノ木立場は、石部宿から草津宿の間にあり、間の宿として旅人の休息・憩いの場となりました。道中薬の和中散は当地の名物として広く知られ、梅ノ木立場には和中散を販売する店が軒を連ねました。その一つ、旧和中散本舗大角家住宅は往時のままだまに残されています。大角家住宅は大名たちが休息する小休み本陣も兼ねました。目川立場では菜でん飯田がく楽が旅人を癒し、名物として、『東海道名所図会』に描かれました。（栗東市文化財保存活用地域計画より）



国指定史跡前の東海道



千人彫りで作成された「ぜさい」看板



JR草津線手原駅

栗東市

70,311



人口（栗東市統計より2025年3月1日時点より）

44.05%



森林割合（栗東市森林整備計画2023年4月より）

1.65



自家用車台数（栗東市地域公共交通計画2024年5月より）

2,312



JRA栗東トレーニング・センター競走馬収容可能数（公式ホームページより）



滋賀県

提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin



東海道を挟んで馬繋ぎ小屋がある

国指定史跡概要

■ 国指指定史跡「旧和中散本舗」

- 国指定名勝「大角家庭園」
- 重要文化財「大角家住宅」
- 機械遺産「人車製薬機(木製動輪)」

旧和中散本舗の所在する栗東市六地蔵は古くは梅木村(うめのきむら)といい、東海道の草津宿と石部宿の中間にあって、古来より間の宿として栄えてきたところです。現在の建物は、寛永年間(1624～)に建てられたもので、昭和29(1954)年3月に国指定重要文化財の指定を受けました。製薬場には木製動輪の直径4メートルにも及ぶ大きな車輪が残っています。令和5(2023)年機械遺産に認定されました。(機械遺産第119号)



小休み本陣玄関の医脚門



小休み本陣上段の間



「わちゅうさん」看板



上段の間から庭園を眺める



人車製薬機1/8模型



上、右；機械遺産認定の人車製薬機



春と秋の特別公開

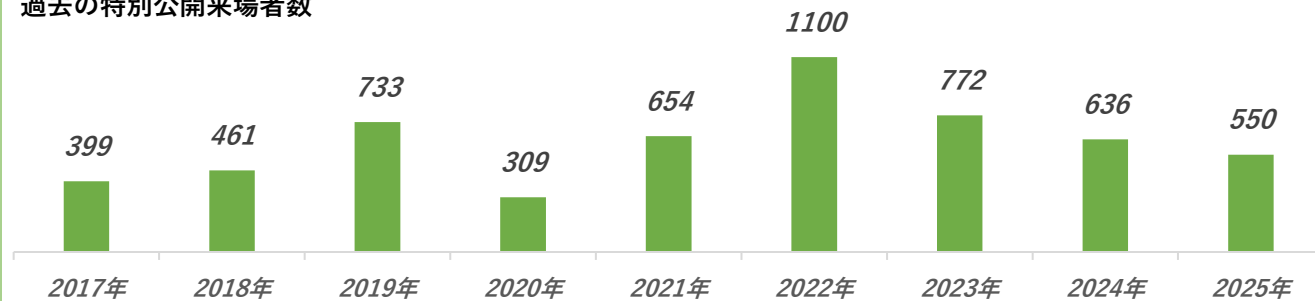
予約制でしか見学できない旧和中散本舗ですが、春と秋の季節限定で大角家と観光協会により特別に公開しています。

春には、国指定の名勝である庭園にカキツバタやサツキが美しく咲き誇り、例年多くの方が歴史に思いをはせながらその美しさを楽しまれています。

公開日は、栗東市ボランティア観光ガイドが語り部として館内をご案内するとともに、「栗東あられ」や「たてば珈琲」を販売しています。

平成29（2017）年までは、NPO法人により実施されていたが、観光協会が事業を引き継ぎ、現在も実施しています。

過去の特別公開来場者数



たてば珈琲と栗東あられ



特別公開時の様子



大角氏庭園

国指定史跡
旧和中散本舗
国指定名勝
大角家庭園

特別公開

公開日
2026年9月
19日(土)～23日(水・祝)
開館時間 10:00～16:00
(最終受付 15:30)
入館料 大人 500円
小人 200円

本元家梅木村元祖
うも書斎秘外、打形
わらわえ

東海道沿いにあり、家康公の腹痛を治した薬「和中散」で全国にその名を知られるように。また、「同の宿」として公家や大名などのお休み本陣としても栄えました。現遺は、大角家住宅は国指定重要文化財、庭園は国指定名勝に指定されています。

国指定史跡および周辺での関連する取り組み



手原SL同好会

元国鉄OB、鉄道好き仲間により設立。毎月1回清掃を実施し、鉄道の日にあわせてイベント開催。



旧和中散本舗 ぜさいや法被制作



旧和中散本舗での書道パフォーマンスおよび百人一首の舞イベント開催



1994

2009

2017

2019

2020

2023

手孕み饅頭

伝承をもとに手原繁栄会が創作。



近江歴史回廊推進協議会

琵琶湖周辺の歴史文化資源をつなぐことを目的に設立。

手原駅マルシェの開催



NPO法人街道を活かしたまちづくりの会

栗東市内を通る街道で観光振興、地域の再生、次世代への継承を目的に設立。旧和中散本舗の定期開場を実施。

たてば珈琲屋台開始

特別公開に合わせて珈琲（ハンドドリップ）の販売を実施。



びわ湖のひな人形めぐり開催

県内他市町との連携でひな人形展を開催。



現状と目指すべき姿

■ さまざまな取り組みを進めてはいますが…

- 歴史ある建築物等、担い手不足により空き家が増加している
- 取り組む主体や域内での連携不足
- 旧和中散本舗の公開等事業が域内の観光消費額に結びついていない
- 高齢化や担い手不足により団体の地域活動の継続が困難になってきている

このままでは…  **地域がどんどん疲弊し、貴重な文化資産や歴史・伝統が潰れてしまいます…**

目指すべき姿 持続的な地域経済の発展、地域の活性化、地域間の相互理解促進、リットウブランド向上を実現することにより、栗東市の未来をより豊かに、元気に、明るくすること。

期待する役割

市内外の関係者と連携し、公正性・透明性を保ち、自然資源の活用、歴史文化の継承、地域社会との共生を通じた、栗東市の持続可能な観光振興を推進する斬新な企画を期待します。

企画の柱

- 歴史や伝統文化の継承
- 地域社会との共生
- 栗東ブランドの形成



貴重な文化資産を後世によりよく伝えるべく、公開事業に限らない利活用法の提案を期待しています。